

後手後手首相は総裁選、総選挙を乗り越えられるか？

2021年秋・66号

信条・世に媚びず・枠にとらわれず
・言いたいことはハッキリ言おう

発行/吉田 進

携帯 090-3168-1063

FAX 072-863-0605

〒110-0015

東京都台東区東上野 3-26-10 FC204号

URL: <http://www.kawaraban.ne.jp/>

E-mail: info@kawaraban.ne.jp

Life Crossing

「乱れ打ちかわら版」あらため/季刊(創刊2001年)

CONTENTS

世の中・社会・文明・歴史・家族・
自分のことを書いています。

時代は変わる-「論語と算盤」

貧富の格差拡大は、政治の無策

吉田 進…2

迷走した東京オリ・パラピック大会

渡辺 好造…3

無言館での成人式

落合恵子さんの言葉の確かさ

信州のロザリアン…4

国家の正義って何？

醉 祥…5

「ガソリン・ディーゼルから

電気自動車へ」の問題点

石油産業コンサルタント 西尾 直毅…6

習近平国家主席よ、

世界のことも考えて欲しい

三田 栄考…7

日本の社会民主主義はどうなるか？

我々は社会民主党として

社会民主主義の道を歩む

社民党全国連合幹事長 服部 良一…8

合流して社会民主主義を継承する

台東社民フォーラム事務局長 高木 正晴…9

大切な命を守りたい

画柳会代表 中田 恭子…10

吉永小百合の

「いのちの停車場」を観た

原野 通有…11

化粧は女の演出

斎藤 ゆり…12

私はゲイです。岩手県 中村 Q助…13

マッチングアプリについて

千葉県 大山 桜…14

化粧

斎藤 喜代子…15

余録/編集後記……………15

会津にてクランクイン「歳三の刀」

映画監督 増山 麗奈…16



汗をかいたら、まず衣を干して読書。いいね。「論語と算盤」なんかを読んでるんでしょうか(六甲山頂)

● 時代は変わる — 「論語と算盤」 — ●

貧富の格差拡大は、政治の無策

吉田 進

セミ時雨^{しぐれ}コロナ死者への
読経^{よみぎ}かな

梅雨^{つゆ}があけたらセミの大合唱が始まった。耳に響くジージーの合唱も死者への弔いかと心に響く。世界のコロナ死者は413万人を超え日本は1・5万人(7/23現在)。正に、今はコロ

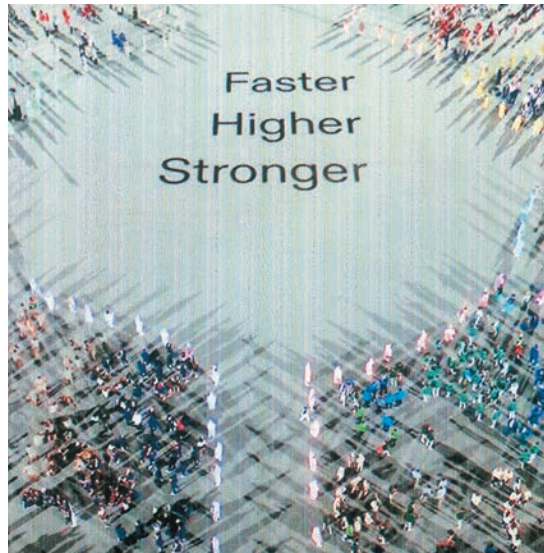
ナ大戦だ。

「有名人コロナで死ねば怖さ知る」とは昔のこと。今は身近だ。

1ヵ月前、目と鼻の先の一家で、老夫妻と娘、3人がバラバラの病院で、誰とも会わず話さず、白木の遺骨となって戻ってきた。受け取ったのは、1人残った長男で、彼は「1ヵ月間

泣いて、泣けて泣いたが、よくもまあ涙が出たもんだ」と目を伏せた。無情。言葉を失った。

そんな悲惨な話は巷に転がっている。倒産・失業・自殺増。その主原因は、不安定雇用⇨全労働者の40%を占める非正規雇用の実態にある。さて、1万円札の人物は福沢



— 2021 東京オリンピック —
選手に拍手 パワーをもらおう



「35歳 駅で物乞い」(毎日新聞より)

菅人気さがれど
受ける野党なし

菅内閣の人気はガタ落ち。毎日新聞の世論調査では、内閣支持率は「支持」30%、「不支持」62%、新型コロナウイルス対策を「評価する」19%、「評価しない」が63%とある。しかし、不評の根は深い。

菅氏は、前安倍政権の官房長官として「森友、加計、桜を見る会」などウソ八百の政治を助け、破綻したアベノミクスで

「強きを助け弱きをくじく」政治を行ってきた。彼は、自民党の勝馬算術で総裁となり、「自助、共助、公助」を掲げたが、言葉は宙ぶらりんで100年に一度の困難を打開する政治、政

策を打ち出せなかった。

大労組企業ファースト
お力ネだけ?

仏教では強欲人間に「足るを知る」「忘己利他」と説き、石田梅岩は「富の主は天下の人々なり」という。ところで、大労組は大なり小なり企業と共に、

論吉から洪沢栄一に変わるらしい。今の現状を福沢さんなら多分、「天は富の上に富をつくらず」と言うだろう。洪沢さんは、「論語と算盤」の両者は車の両輪のように、左右大きさが違うと未来に向かって進めない」と、1世紀前に説いている。大谷翔平選手も「論語と算盤」を教訓としているとか。習近平さんも大先輩、孔子の論語を読みなはれ。

雇用「調整弁」として非正規雇用をすすめ、彼らの多くがコロナ地獄に落ちている。

今度は、「官制春闘」の如く政労使一体で、下請け孫請けに至るまで、正規雇用化に取り組みべし。

根拠もなく、力づくで海も領土も自国のものという覇権主義中国には答えようがない。100人に聞いた。「住みたくないお国は」に「第一が北朝鮮、次は中国」の答えをもらったが、それで十分だろう。

G7の共同声明で、「中国の人権侵害や覇権、サイバー攻撃など憂慮する」とした。同時に、世界のグローバル化で環境・感染症・核拡散等の対策をめぐり、対抗の一方で対話も求めている。だが、うまくゆくかな。

迷走した東京オリ・パラピク大会

地球環境フォーラム・ジャパン 埼玉県

渡辺 好造

東京オリンピック・パラリンピック大会が1年遅れて21年7月23日より多くの問題をはらんだまま無観客で開催された。今後、オリンピックを



関係者IDチェック検問所 (22日・開会式前日)

巨額の費用をかけて何のために開催するのか意義も問い直されており、オリンピックの問題点を検証していかなければならない。

1. トラブル続きの東京オリ・パラ大会

当初の計画段階から様々な問題を抱えていた。新国立競技場の計画案の撤回、大会エンブレムの盗用

疑惑、五輪招致に絡む贈収賄問題などのトラブル。そして招致段階から旗振り役として関わってきた主要な人物の辞任。今年2月には、当時の組織委員会の森喜朗会長が女性蔑視発言の責任を取って辞任を表明。「招致の顔」だった安倍晋三前首相、日本オリンピック委員会の竹田恒和前会長、猪瀬直樹元都知事といった主要中心人物が表舞台から消え去った。そして開会式直前には、過去のいじめで楽曲担当者が辞任し、差別発言で演出担当者が解任された。

2. 膨らむ巨額の開催経費

招致当時、開催経費は、総額7340億とされていたが、その後、大会組織委員会は総額1兆3500億円とする予算を公表し、都も関連経費は7766億円と発表。様々な経費を合わせると大会経費は3兆円を超え、当初の4倍以上と見込まれる巨額なものとなった。

3. 多数のボランティアの辞退者

東京オリンピック・パラリンピック大会の競技会場や選手村などで活動する無償のボランティアおよそ8万人のうち、辞退者がおよそ1万人を上回り、組織委員会では、大会運営には支障がないとしていた。その一方では、「五輪を支えるボランティアは無償が大前提」と言って多くの人材を集めながら、不足した人材を人材派遣会社への委託による「有償による人材」を確保し、多くの批判が寄せられた。

4. 相次ぐオリンピック開催反対の声

当初より、オリンピックの反対運動を唱えてきた市民団体「反五輪の会」は、数多くのデモを主催し、「オリ

ピックは要らない」「聖火リレーを今すぐ止めろ」などと訴え続けた。5月には元日弁連会長である宇都宮健児氏がオンライン署名サイト「change.org」で東京オリンピック・パラリンピック大会の開催中止を求める署名を立ち上げ、東京都庁で小池百合子都知事に宛てた署名報告書(提出時約35万筆)と開催中止の要望書を提出。IOC(国際オリンピック委員会)とIPC(国際パラリンピック委員会)に対し開催中止を申し入れるよう要望し、署名は最終的には約45万筆を突破した。東京保険医協会なども東京オリンピック・パラリンピックの開催中止を求める意見書を送ったが、政府、都、組織委員会はその声を受け入れなかった。国民の8割近くが延期、中止希望であるにも拘わらず政権を動かすことができなかったのは何故だろうか？ マスメディアや医療関係者が感染拡大の見通しがつかぬ、五輪反対、阻止に及び腰であったからとも言われる。推進・政権側は一致してぶれない姿勢を貫いた――

が、弱音を吐くとほころびが

5. 今後の問題点

開催前、菅首相は、開催目的については単に「安全、安心な大会を実現する」と繰り返し強調したため、壊れたレコードと揶揄された。具体的な説明を避け続け、開催の判断(責任)は、IOCにあるとして責任を回避し、開催目的と責任の所在の不明確化が露呈。IOC関係者からは、開催にあたり国民感情を逆なでするような発言が相次いだ。今後、大会終了後の当初の予算の4倍を超える巨額な開催費用の負担問題、オリンピックのために建設された巨大施設・設備維持費の確保等の財政負担問題が山積している。オリンピックは「平和の祭典」と言われてきたが、現実的には年々巨額化していく大会運営費、IOCの商業資本主義による経済優先・利権ビジネスによる経済格差の助長そして国家的な競技競争の激化。既にオリンピック開催は、当初の主旨から変節し、破綻してきておりIOCは、縮小、廃止を含めて早急に見直すべきである。

無言館での成人式 落合恵子さんの 言葉の確かさ

信州のロザリアン

太平洋戦争の終結をはさんで、この世に生を受けた人々の中には、平和と戦争というコインの表と裏のように背中

に張り付いたその時代の感覚で、平和を守る活動をなさっている人や場所があります。

沖縄戦での壮絶さを描いた画家の丸木位里・俊夫妻の「沖縄戦の図」がある沖縄の普天間基地の隣にある佐喜眞美術館、同じく丸木夫妻が32年間描き継いだ「原爆図」のある埼玉県東松山市の丸木美術館、そして無念の死となった戦没画学生の遺作の絵を収集・展示している無言館は、長野県の上田市にあります。

作家の水上勉さんの息子である窪島誠一郎さんの『無言館』では、毎年4月末に成人式があり、参加した若者は、自分の年齢に近い戦没画学生

の絵と対峙して、自分を見つめ、心の扉を開き、窪島館長とゲストの方から成人の祝福を受けます。



「無言館」成人式
前列中央・落合恵子さん、窪島誠一郎館長（撮影筆者）

19回目の今回のゲストは、作家の落合恵子さんでした。落合恵子さんが若い時、深夜のラジオ番組でレモンちゃん

というニックネームのパーソナリティーとして、若者のハートをキャッチしてました。私も布団の中で親に見つからぬように、レモンちゃんという言葉に耳を傾けていた1人でした。この無言館のある塩田平は降水量が少ない場所ですが、今回の成人式は初めての雨の中の式典でした。若葉の緑の織りなす静けさの漂う『無言館』に雨音が伴奏となり、このコロナ禍で20歳を迎えた若者15名は、落

合恵子さんから一人ずつ本人当てる祝福の手紙と言葉をいただきました。落合さんは20歳の頃は、何にでもなれそうな気がして、一方では何も出来ないような行ったり来たりした日々だったそうです。戦争中は、出産は自宅で助産婦さんがあたりまえの時代だったそうですが、落合さんのお母さん

は、シングルマザーで許されざる時代だったので、栃木の小さな個人病院で出産し、シングルマザーではこれから

バッシングを受けるから、ここに入院している間は安心して過ごしてと言ってくれたこの病院が、空襲で犠牲になってしまったそうで、戦争だけは絶対にダメだと、いつもお母さんから聞かされていたそうです。1945年に生まれた落合さんは、10歳の時に母親に『なぜ私を生んだの？』と聞いたそうです。

『あなたのお父さんが大好きで、戦争で会えないから...』と。次の世代の子供たちに、生まれて来て良かったと思える社会を、ほんの僅かでも大人の1人として作れたらと、子供と女性の本の専門店『クレヨンハウス』を立ち上げられました。私は東京にいた時には、絵本やオーガニックの食事やコスメ、木のおもちゃは友人の出産祝いに重宝して、大切なお店でした。

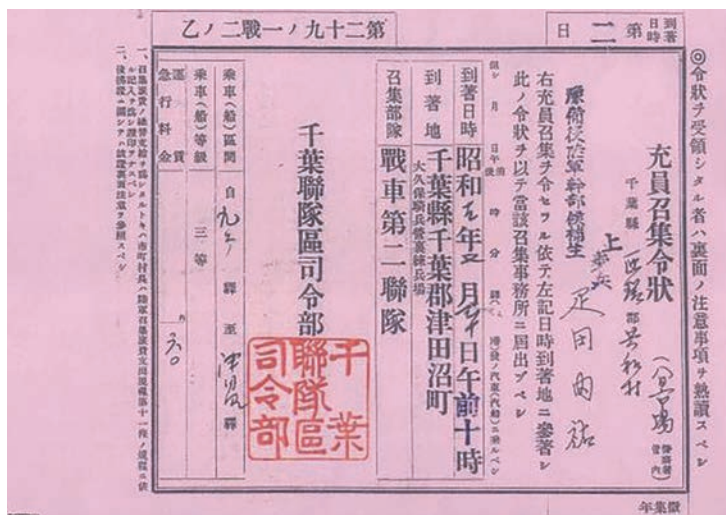
横にいてくれる 人間関係の大切さ

落合さんに無言館の絵の中で、好きな作品をお伺いしたら、しゃがんで膝をかかえて寂しそうな少女の絵を選ばれて、私はふと、その絵の少女と10歳の時に母親に問いかけ

た少女の落合さんとが重なりました。

血の繋がりが無い子供たちにも繋がりたい。生まれて来てありがたいと言える大人になりたい。『だから戦争はダメ！平和が大切！』『無理だからダメかも...』と諦めない。人生はうまくいかない事ばかりでも、必死に生きて、打ち込むことが大事で、それが人生なのだ...とどんな大人が身近にいるかで、子供は変わる!!

コロナ禍の不安の中、1947年にカミュが書いた『ペスト』と今を重ねて、カミュの名言『私の前を歩かないでください。後ろについていなくても歩かなくてもいい。私の後ろを歩かないでください。先に立つて導かないかもしれない。私と並んで歩いてください。そして私の友でいてください。』を、落合さんが紹介してくれました。そして、人権と命については、『私はあなたを生きることが出来ません。あなたを生きるのはあなたしかないので。』と...船出した若者たちへの熱きメッセージは、私へのメッセージでもありました。



これで国民の人生が変わる。赤紙一枚で国家は国民の命まで召し上げてしまう。恐ろしい(本赤紙は本文と関係ありません)

国家の正義って何？

東京 酔 祥

へ想像してごらん 天国も地獄もない世界を想像してごらん 国もない殺す理由も死ぬ理由もないそして 宗教もない ただ平和に生きるだけの世界を……

ジョンレノンの歌声が背後から聞こえてきた。女性ジョーガーが二の腕のスマホから『イマジン』を流しながら、もたもた歩いている老人(僕のこと)を、あつという間に

追い抜いていった。3月中旬、東京都福祉保健局生活福祉部計画課援護恩給担当より一通の手紙が来た。『第11回特別弔慰金請求の案内』とあった。フィリピン・ルソン島バギオ東方山地で戦死(おそらく餓死)した親父(享年33歳)の遺族に対する弔慰金である。居住区の窓口へ行って請求手続きをすれば、総額25万円(の国債が支給され、毎年5

万円ずつ償還されるのだ。お布施、供物代、食事代、交通費など法事にかかる全費用をカバーしてくれる額ではないけれど、亡くなった兄貴の代わりに有難く頂くことにした。早速、江東区役所に出かけ、手続きを済ませたが、これから、書類が東京都厚生労働省↓財務省↓日本銀行↓江東区↓請求者と回るのことで、約一年も時間がかかることであつた。

今更ながら、一家の大黒柱の国民と最後は前途洋々たる有能な学生までも、国家の言う正義のために、僅か一銭五厘の赤紙一枚で戦場へ送り込んだ国家権力の恐ろしさに体が震えてくるのだ。

ジョンレノンの『イマジンの』歌詞は、トーマスマアの著作『ユートピア』を下敷きにしていと思われる。Utopia(理想郷、空想上の理想的社会)の元々の意味は「どこにもない場所」ということだから、やはり国家なき社会は単なる幻影に過ぎないのだろうか。恒久平和を願ってポーランド人が発明した国際共通語・エスペラント語も、結局、英語、スペイン

語、アラビア語などを凌げずに発展できずにいるのが現実だ。人間は、生まれた時には、すでに格差が始まっているのが現実なのだ。不幸にも戦争で国に命を奪われた日本国籍の兵士の遺族には、政府は少額ながら年金という形で落とし前をつけた。しかし、日本の兵士として戦場に送られた半島出身の外国人には、十分な補償がなされなかつたことには心が痛む。

ヨーロッパ駐在が長かつた僕ら夫婦は、西独で生まれた息子と娘をスイスで育てた。彼らは、現地の大学を出、そのままスイスの会社に就職した。日本では法律が変わり、二重国籍が許されないことになった。日本国籍では不都合なことが多いので、彼らは日本国籍を捨て、スイス人になることを選択した。

白人至上主義のヨーロッパでは、平たい顔のアジア人は、よほどの才能がない限り蔑視されてしまうのだ。民族間の対立は、アメリカとソ連の東西冷戦時代よりも、親分がいなくなつた現在の方がますます激しさを増している。

中東、アフリカ、アジアで絶え間なく戦火が燃え盛り、経済格差、地球温暖化、環境破壊はとどまるところを知らない。

拒否権が認められている国連では、大国のエゴが罷り通り、理想を求める機能は、ほとんど無いに等しいのが現状だ。新型コロナウイルスの蔓延で、自国ファーストの国家のエゴはますます凶暴になっている。この情けない現状を見たら、トーマスマアやジョンレノンはなんと嘆くだらうか。

せめて、戦争も核兵器もコロナもない平和な世界への出口戦略のロードマップを見届けてから死にたいものだづくづく思う。

『朝練や 十五の夏を 疑はず』―香深 自句自解―戦争、無差別テロ、自然災害、伝染病など、想定外の災厄で、人類はかけがえのない日常の崩壊を幾度も経験して来ました。それでもなお、若い人たちには、希望を失わず、ゆっくりに前進していったほしい、と熱いエールを送りたい。

「ガソリン・ディーゼルから電気自動車へ」の問題点

UDEX コンサルティング・インク代表 西尾 直毅



西尾直毅氏略歴

1964年慶大卒、エッソ石油入社。1996年代表取締役常務。2001年以降、国内外のコンサルタント、ウズベキスタン・ベトナムなどアジアの国々でマーケティングの講義。2006年民営化法人日本アルコール産業株式会社初代社長。石油業界のあり方に関する多数の講演、離島の石油製品流通合理化や安定供給に関する協議会座長等エネルギー業界で活躍。

日本政府は、「2035年からG D車の製造禁止。2050年までにカーボンニュートラルでG Dをゼロ」方針を正式に打ち出した。「地球温暖化防止」の流れの中で、各方面から支持されている。しかしG D車を廃止し、すべてEV車にする事の社会的影響が余りにも大きいので問題点を列記する。

1. 自動車業界は、現在年間400万台製造しているG D車がなくなれば、その生産設備・関連従業員550万人をどうするか。ただ、自動車会社は資金も豊富で、人材もそろっているから、15年も先の話ならその間にEV車製造などへ変換していく可能性は大であろう。

2. 消費者はどうか。35年以降、新車がEV車になればEV車を購入する。EV車への転換が明確な時、35年の1、2年前にG D車を買うだろうか。中古車価値がゼロになる可能性があるG D車を買う人はいない。G D車からEV車への転換は35年より一層早まる事になる。

3. 悲惨なのは中古車販売業者である。現在の中古車は

99% G D車であるから、G D車は売れなくなる一方、35年以降数年間はEV車の中古車は出て来ない。

4. 石油業界は、G D需要の激減に対応しなければならぬ。元売りは、資金が豊富な上に優秀な人材が揃っている。脱石油への転換に成功するだろう。G Dが無くなり、灯油・A重油だけが残り、原油を輸入して2品だけ精製する事が出来るのか。無くなるG Dの精製コストを2品に乗せ値上げすれば、2品を使っている農業・工業・漁業等の国際競争力は大幅に低下する。

5. ガソリンスタンド(G S)はどうか。今、G Sは全国に約3万軒あるが、その75%は1軒〜3軒を経営している小さな商店主である。将来販売する商品の需要が激減するのなら、経営者はG S経営を見限って、他のビジネスに転化する。3万軒の大半は、40〜50年前に立てられた設備で、G Sは50年経ったら地下のタンクを掘り返し、配管等も新品に変えねばならない。費用は、最低2〜3000万円はする。将来性のない

事業にそんな多額の投資をするか。50年経ったG Sは、漏洩の危険性を感じたら、すぐ閉鎖するだろう。

6. 現在8000万台登録されているG D車のユーザーの中で、当面EV車へ切り替えられない人は、G D車を使用する限りG Sで燃料の供給を受けねばならないが、



ガソリンスタンド

G Sが閉鎖されると、給油を求めている場所が大混乱が起きる。G D車の位置とG Sの位置がマッチしないと大変な事になる。G D車の減少とG Sネットワークの減少をマッチングさせる行政指導が地域毎にも全国的にも必要になるが、G Sが独立した個人経営であり、極めて困難な作業となるだろう。

7. 既存のG Sがなくなる。困るのは、灯油の消費者である。暖房・厨房用に灯油

を利用している消費者が多数あり、北国では自分の家に60L〜90Lのタンクに灯油を入れて暖房・厨房に使っている。灯油の供給のG Sの閉鎖は死活問題である。需要は冬場に集中するので、L P G業者や大手スーパーによる灯油配達も、個々の消費者へ可能なのか。消費者に灯油の使用を断念させ、電気や都市ガスへの転換を強要出来るのか。

8. 更に給油所の激減とG D需要の激減で、これらの輸送に従事していたタンクローリー、タンカー、石油の第1次基地・2次基地に関連する業界は大打撃を受ける。

石油業界関連業者並びに中古自動車販売業者などの撤退に伴う経済的大損失と、新しい電池・電力供給のインフラ投資と消費者のEV車購入に対する新規投資の双方を考慮した場合、政府の方針は、理念は別として、正しいものなのだろうか。少なくとも上記の問題点に対する解決策を明示した上で、公に提案されるべきものではなからうか。

(※G D⇨ガソリン・ディーゼル車 EV⇨電気自動車の略)

習近平国家主席よ

世界のこととも考えて欲しい

東京 三田 栄考



世界一の…？ 習近平国家主席

英国でのG7はさながら「民主主義国対専制主義国」の対決模様。残念ながら「資本主義対社会主義」とは言えない状況だ。勿論、それだけ中（ソ）の力、経済力、軍事力、影響力が強くなって、中国対オーストラリア先進国の様相を呈するほど、習近平主席が率いる中国が強大になってきた証拠とも言えよう。

それなら主席よ、力だけでなく、民度・文化・人権・自由・民主主義等々の点でもレベルアップしてもらえないものか？ プーチン大統領ですら選挙があるから自身の人柄の宣伝にも気を使うのに、国家主席は公式な映像しか見れない。記者会見をしたことがあるのだろうか？ 金正恩委員長以上に個性すら伺い知れない困った国だ。

私は仕事でも長年貴国と付き合い、訪中は50回以上、親中派を自認してきた。東のハルビンからシルクロードの西端カシユガルまで、これも50都市以上訪問している。貴国が諸外国との交流を重ねれば、外国の文化が浸透し少しずつ「改革開放」されるものと期待してきたが、なかなかそうはいかないようだ。中国国民はネットなどで相当程度、民主主義国の様子を見聞きしている。それに外国旅行で他国の社会を知っている。金持ち層は留学先の子弟からの情報も得ている。

中国人はこう言う、「我々中国人は鄧小平さんの改革開放策などで確実に生活が良くなっているから共産党支配を我慢できる。経済でも不平等などや問題は沢山あるが、それ以上に確実に豊かになって行くだろうと、確信しているからですよ」。ナルホド、中国の国際的地位も飛躍的に伸びた。共産党に歯向いさえないければ、身の安全は保証されるから不満が噴出しないうわいだ。

どこの国でもどの時代でも政治に思想に人権に命を懸ける人はわずかだ。

（一部の活動家が国を動かすことがあったから民衆の運動を過大に評価され過ぎていゝる）大多数の国民は統治者＝権力者の意向に多少の、いや、かなりの不満があっても、身の安全第一でおとなしくさせられてきた。大多数の国民が命がけて反政権に立ち上げれば権力側は持たない。そのような事態にならないように、統治者は権力を総動員して国民の不満をそらしてきた。

そして今や習近平氏の意向が香港、ウイグル、ミャンマー、南沙諸島、台湾海峡、北朝鮮問題を起こしている。私はかつて社会主義が世界の進歩をリードするものと信じて来たが、今やその逆を行っているかと認めざるを得ない。習近平主席はこれまでの独裁者と異なり、演説でアジることとはないが、表情も変えずに世界を後ろ向きに進めているからなんと腹立たしいことか。

中国よ 中国国民よ 真の世界一の大国になれ

もう20年もしたら経済力でも米国を追い抜いて世界一の大国になるうとしていたのが、民度が低い二流国ではみつともない。中国の駅などに「列を作って並んで待とう、それが文明国」のスローガンがある。我れ先に乗ろうとする人が多い証明だ。

数年前から汚職に厳しい対処を取っているが、それだけ汚職が蔓延しているし、今でも後を絶たないのは私も商売上、常に実感している。数年前に新幹線が浙江省の温州市郊外で高架から落ちたのには驚いた、日本では有り得ないことだ。

しかし、今や新幹線網は世界一だが、新しいはずの駅のトイレはもうひび割れや故障の張り紙がある。建築物は材料が悪いからか、建付け技術が低いからか、手入れをしないからか、築30年かと思っ聞くとも築後年数は半分、老朽化の速度は日本の倍だ。古くなったら建て直せば、需要と仕事が増えるからそれで良いんだとの答えが返ってくる。

世界一の大国がどっかに行くことも日本が移動することもできないから、ましてや経済的にも結びつきが強いから、うまく付き合うしかない。日本政府は軍事や覇権主義には軍事で対抗するしか応えない。平和主義とは軍事を抑えて外交努力を唱えることなのに。

—コロナ禍から「社会民主主義」を考える—

我々は社会民主党として 社会民主主義の道を歩む

社会民主党全国連合 幹事長 服部 良一

2年にわたってコロナ禍が世界を襲い、想像を絶する感染の広がりが社会・経済へ深刻な影響を与えている。それは今後の労働のあり方やライフスタイルにも大きな影響を与えているし、何よりも「公から民」へと効率化ばかりを優先し、小さな政府・弱肉強食政策を進めてきた新自由主義の破綻が明々白々になった。そのことがあらためて「公共」の役割を見直させ、世界的に社会民主主義、あるいは米国では若者の間に民主主義的社会的主義に注目が集まっている。

学部定の数を減らし医者の数を削減、厚労省は病院のベッド数を大幅に削減、国公立病院の統廃合や保健所の大幅な削減を進めてきた。コロナ禍といういざ非常事態となった時の脆弱な医療現場の実態が見事に浮き彫りになった。人のいのちを救えないという深刻な事態になったのである。社会の格差貧困も深刻だ。今、非正規労働者が就労者の4割を占め、コロナ禍の中で真っ先に解雇され失職する現実がある。特に女性の失職は多く自殺率も高い。一方で大企業の内部留保は470兆円を突破し、この深刻なコロナ禍の中でもほとんど目減りしていない。ポストコロナの議論があるが、我々がどのような社会をめざし創っていくのか、大きな曲がり角にきている。

出番だと思いが、皆さんはいかがであるか？ 一握りの富裕層や大企業に富が蓄積される一方で、まともに飯が食えない、生活ができない99%の民衆とに社会が二極化している。民衆は明らかに新しい社会への転換を望んでいる。それが「公共」の役割の強化であり、富や税の再配分機能の復活であり、安心して子どもを産み育てることのできる社会であり、老後を安心して迎えることのできる社会である。一言で言えば「いのちとくらしを大切にす政治」の



全国代表者会議（中央に福島党首、右端は筆者）

な柱は平和主義である。憲法理念の実現と言ってもいい。現在「台湾有事」がマスコミを賑やかしているが、戦争ではなく平和外交でアジアの平和を構築する、その考えは全くおぼれることはない。ただ残念なのは立憲野党の中から「尖閣防衛」や「日米同盟基軸」や「防衛力強化」を声高に言う人がいることだ。これは明らかに社民主義の理念とは違う。日本においては先の大戦への反省から生まれた日本国憲法の平和主義の理念に基づいた外交や平和政策を実行することは当然であり、抽象論でも原理論でもない、まさに国是なのだ。「台湾有事」に安保法制（「戦争法」）を適用し集団的自衛権の行使による日米軍事協力に対応するならば、沖縄や南西諸島、さらには在日米軍基地が存在する地域はたちどころに戦場と化す危険性がある。平和憲法を持つ日本が米中の間に入って平和外交の力によって戦争を防止する力こそが求められている。まさに社民主義の外交政策である。

多様性社会の実現も大きな目標である。この間入管法改正案で難民問題がクローズアップされたが、日本の狭隘で人権無視、排外主義的な入管行政が明らかになった。これは明治維新以降のアジアへの侵略・植民地政策の中で形成されてきたもので、根強い差別、蔑視感がいまなお残っている。外国人だけでなく障がい者や性的マイノリティなど様々な立場の人々といかに共生社会を創っていくのか、社民主義にとっての重要な課題だ。

最後に環境の問題だ。脱原発は一貫した方針であることは言うまでもないが、地球環境問題への取り組みは今まで必ずしも十分ではなかった。エコロジ的な社民主義を掲げ実践していかなければならない。

立憲民主党への合流議論があり、日本に社民主義の政党が存立できるのかが必要かどうか悩んだ方も多し。我々が社民主義のしつかり旗を立てることが出来るのか、それとも二大保守政党の道を選択するのか、それも今日本の政治の大きな分岐点のような気がするが、皆さんはいかがだろうか。

合流して

社会民主主義を継承する

社民フォーラム台東 事務局長 高木 正晴



村山元総理（社民党初代党首）宅を訪問する立憲民主党代表枝野幸雄と合流した吉川元衆議院議員

新型コロナウイルス感染は昨年1月に横浜に停泊中の豪華客船ダイヤモンドモンドプリンセス号で確認されたのが国内感染の始まりと言われています。その後感染は人、モノの移動、密集空間など感染ルートを媒介として瞬く間に広がりました。

4月には第1回目の緊急事態宣言が発令され、人的移動や、飲食店の営業、観光、イベントなど自粛要請がされました。

しかし周期的に感染を繰り返し、今日まで3回の緊急事態宣言が発令され、多くの「私権制限」が実施されてきました。体力のない中小、零細企業の収益は悪化。破産や廃業に

追い込まれるケースが多発し、宣言の長期化に悲鳴がだされました。自粛要請協力に対しては、保障が伴わなければ生きる糧を失い深刻な事態に陥ってしまいます。協力を伴う以上、保障は一体で進めなければな

りません。当初は「自助努力」を力説していましたが野党の追及により公的な支援が実施されてきました。菅総理肝いりで進められたGOTOトラベルは一方的に決められ、感染が拡大し急遽取り消すなど政権の場当たりの対応に国民批判が集中しました。

特に今回のコロナ禍では業績不振を理由に「解雇」「雇い止め」された労働者は約10万5000人と言われ増え続けています。特に派遣社員等非正規雇用労働者が「雇用の調整弁」とされました。雇用を失う事は憲法25条（生存権、国の社会的使命）で「すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」と規定されています。これら生存権侵害は断じて許されるものではありません。

今回コロナ禍で「この社会の生きづらさ」が浮き彫りとなつています。子供の7人に1人。中でも一人親家庭の半数が貧困に陥つていると言われています。先進諸国、経済大国と言われていますが、そこで働く者の現実には低賃金、長時間労働で心身とも疲れ、自殺に追い込まれる悲しい現

実など、事態は深刻さが増えています。今こそ私たちの目指すべき社会 ①憲法の理念が実現された社会 ②格差を是正した生活優先の社会 ③人々が支え合い、尊重し合う社会の実現で誰もが安心して働き、生活できる社会を築かねばなりません。

立憲民主党との合流を選択

社民党は昨年11月の臨時全国大会で「立憲民主党からの合流の呼びかけ」に対し①「社民党を残し社会民主主義の実現にとり組む」という選択と、②「立憲民主党に合流し、社会民主主義の継承と発展をめざす」というどちらの選択肢も「尊重し理解する」とした議案が賛成多数で可決されましたが、残念ながら党全体が一つにまとまって行動するとはならず結果的に「社民党に残る道と、立憲民主党に合流する道」に分かれて、それぞれ社民主義の理念や政策と運動の継承発展をめざし活動を進めて行く事になりました。

私たちの支部は3回の全体党员会議を開催し、討論を積み上げてきましたが、考え方の溝が埋まらず、最終的に党员的の判断を尊重し、党员の活動

の保障と組織配属を確認してきました。

一方で支部党员の多数は呼びかけに応じて立憲民主党との合流を選択しました。立憲民主党からの呼びかけを重く受け止めた背景には、①党员の奮闘にもかかわらず国会議員、地方議員、党员の減少など組織の衰退がある ②国民の命と暮らし、平和と民主主義を守る活動を担う党员の高齢化が進み、組織維持が困難になっている ③今年施行される総選挙では5議席以上、2%超えを獲得して国政政党として残ることが前提となっていますが、存亡の危機的局面を迎えている事は党员誰しもが肌で感じている事です。むしろ立憲からの呼びかけは将来の政権交代を現実のものとし、国民を置き去りにした政治を取り戻す絶好の機会です。

私たちの進むべき道は立憲と合流する中で、社会民主主義の理念や政策、運動を継承発展させていく事です。4月より社民フォーラムを設立し活動を進めています。将来的には「社民、リベラル勢力」の総結集を展望したい。

恭子の日記 ㊦

寄り添う心持つための経験

展示会が続いたが、友人や寺子屋の教え子たちや卒業生がたくさん来てくれた。懐かしい人たちと会えて、その夜心地よい疲れでぐっすりと眠ってしまった。次の朝目覚めると、今年大学生になったばかりの子から1通のメールが届いていた。その子は大学生活を充実したものにしよう

と懸命だった。けれどどうつかり提出物の内容を取り間違えて単位を全て落とすようになるかも、というメールだった。

た。落ち着けるから、恭子ママのメールをくださいという内容だった。

どうしようか?と思う事は本当に時々やってくる。その子のメールを見ながら、昔々の大学生の頃の私を思い出していた。私は和弓を引いていた。段もとり、インターハイに出るようになった。体育の副部長もしていたし、アルパイトにも駆け回っていた。特にスポーツに夢中になっていた。そのため大切な英語の英文学

史を落としてしまった。とても厳しい先生で叱る声は遠くまで響くように怖かった。

私はインターハイがあるの追試の日を変えていただけで追試の日を変えていただけに行っただが、それはあなたのせいよと冷たく突っぱねられてしまった。念願のインターハイをあきらめるのか、それとも単位を落とすのか、とても迷った。

私は必死だった。再度叱られることを覚悟で頭を下げていった。全て自分のせいです。でもどうしてもインターハイにも行きたいので英文学史もがんばって勉強するので再テストの日をずらしていただけではないでしょうか? すると先生はこう言われた。地球

が壊れてもテストの日を変えらる事はできません。だけどあなたがそこまで心を尽くしてこのことを深く考えたのなら、あなたはきっと追試をクリアするでしょう。

人生にはいつも道が2つあって右を取るか左を取るからだ。私はインターハイに出たかったのだが、先生が私に対して心を尽くしてくださった言葉は多分人生の大切なことの1つだろうと思いつつインターハイを諦めた。だからメールで助けを求めてきた生徒の気持ちは本当によくわかった。今分かれてる道のどちらを選ぶか、彼女もとても苦しい思いをしているのだとわかった。だけど正しいことを一生懸命して、思いを伝えたら人生はまた良いほうに変わるのだと言ったこともわかっていった。

インターハイは諦めないといけなかったけれど、厳しかったその先生はそれから私によく目をかけてくれるようになり、優しくなり、関係がとてよくなった。いいこともあるし悪いこともある。正しい判断をするときつと長い人生の幸せの道につながっているのはわかる。私は彼女と

同じような苦しい思いをしたからこそ、彼女の気持ちを深くわかってあげることができたのだと思う。

今自分が置かれている試練は何のためなのか、誰のためなのか、すぐに結果が見えないと落ち込みそうになることもある。だけどそれは長い長い年月を経て、誰かの横に寄り添う心を持つための大切な経験なのだと思はしじみじみと思う。だからすべてのことに嘆かず全てを受け入れ、いずれ誰かの役に立つための試練と思えば、どんなことも頑張って受け入れられると伝えたい。翌々日、彼女からメールが届いた。

恭子ママのメールを見て、私も勇気を出しました。思い煩って立ち止まるより先生に真心を素直に伝えたら留年はなくなりました。というメールだった。

人は皆欠点があり失敗を繰り返す。だからそんな自分を許してもらおう経験をした人は、人を許せる心を持つようになれるのだと改めて思った。

中田 恭子

(画柳会代表・横浜在住)



これは、ポールフロート氏により、「国際美術評論家最高賞」を受賞した作品「大切な命を守りたい」です(ポールフロート氏はオノ・ヨーコさんの反戦活動をプロデュースした方)。

6月から7月の初めに私は親しい人を5人も見送った。寂しさの上にまた悲しみのお知らせで仏壇の前で、手を合わせて、お線香を焚くばかりだった。命は必ず召される。それまでの親しい交わりの想いだけが残されて、2度と共有できない気持ちが悲しみの沼に沈む。

いずれ私も旅立つ。旅立つ者は、置いていく者に心を残して、自分では見えない未来を生き抜いてほしいと、切に思いながら、旅立つのだろう。そして魂になったのちは、宇宙から、みんなのことを守りたい、守れる魂になりたいと思うにちがいない。この絵はニッコー台場ホテル3階の入り口に飾られている。別枠でグランプリの賞もいただいたのは、見る人の魂も確かに入ったのだとありがたく思っている。

吉永小百合のいのちのちの停車場を観た 南杏子

大阪市 原野 通有



広瀬すず、吉永小百合、松坂桃李、西田敏行

私はサユリストではないが、十代から今日に至るまで彼女は全ての映画で主演を続け正に日本の代表的女優だと認められる。さすがは女優で歳を綺麗に重ねてお婆ちゃん臭さは見られない。実年齢よりも15歳も若い女医を初めて演じていた。

主人公白石咲和子は東京の城北医大病院の救命救急副センター長を医療の手違いで投げ打つ羽目になり老いた父の

待つ故郷の金沢に帰る。映画では在宅医療まほろば診療所で6人の重症患者の死に立ち向かう。死に逝く者の苦しみもあれば、死を看取る覚悟もと医者も語る。厚生労働省の高級官僚の宮嶋一義審議官57歳が膵臓癌で故郷で死の床に就く。膵臓は体の奥まった箇所にあるから見つかった時はほぼ命が助からないのは今日では良く知られている。医学的に死の兆候、過程を主人公

咲和子は家族に説明する。幸か不幸か私は人の死の瞬間にまだ出会ったことがない。なるほど危篤とはこういう状態を言うのかなと私も理解した。《宮嶋の腕を動かして関節の拘縮具合を確かめたとき、抵抗がほとんど感じられなかった。腕も、体幹も同じで、全体に力が入らない様子だ。生命の炎が燃え尽きる時を迎えたのだと咲和子は確信した》《意識混濁や下顎呼吸などの死に至る変化を妻の友里恵に伝える》その間際宮嶋は疎遠だった息子大樹の名を呼ぶ。咲和子はとっさに医者志願の助手の《野呂の手を引き寄せて宮嶋に握らせた。》「宮嶋さん、息子さんですよ。息子さんが見えましたよ」次の瞬間野呂も《「親父、親父」と大声を出した》そして、《咲和子は宮嶋の胸に聴診器を当てる。それから胸を開き、ペンライトで瞳孔を確認した。呼吸音が消失し、心音も消失、対光反射も消失していった。死亡確認の三兆候だ》

人生最大の問題は【死】なのに、我々は【死】について考えるのが少ないように思える。

私は死は怖い。死ぬのは死ぬほど嫌だ。

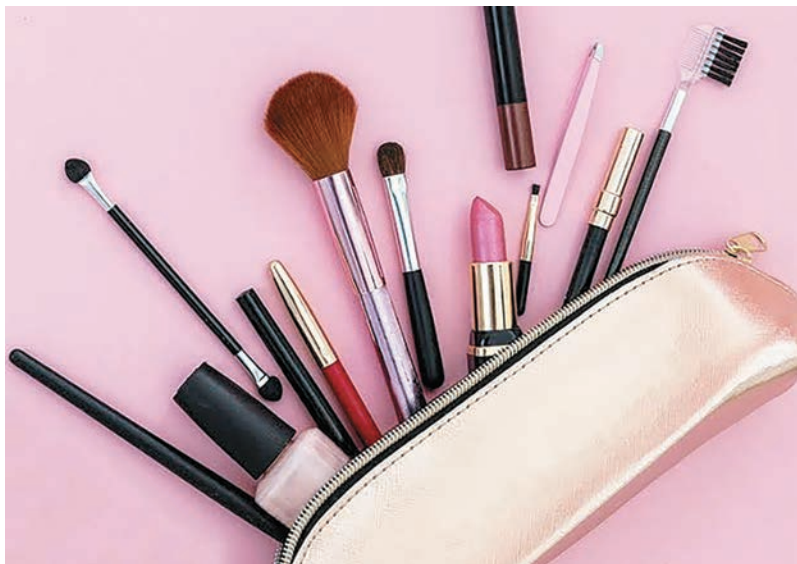
自分がいない世界は信じられない。自分が存在しない世の中なら無くても良いと思ったりすることすらある。

まだ若いのにと悼まれる死もあるが、子供の長年の闘病の末に命が尽きるの涙を誘う。北陸小児がんセンターから在宅医療の依頼があった患者は6歳、若林萌。腎腫症で、肝転移も有り、ステージ4の末期症状である。「万引き家族」にも出演した佐々木みゆの子役は三角糸帽をかぶり、血色も良くない顔付きで難しい役柄を上手にこなしていた。死というものを知らないようで、知っている萌は皆を困らせる。《愛娘に死が迫っていると現実を、すぐに受け入れられる親なんて、世の中にいるわけがないよ》少女は《萌ね、海に行きたい》《だって萌はもうすぐ死ぬんでしょ。だから海に行きたいの。死ぬ前に海に連れてって》《海の神様にお願いたしたいの。今度は本物の人魚に産まれさせて》と。皆で知恵を絞って車で千里浜のなぎさのドライブウェイを走り、

両親が波打ち際まで抱いて行く、萌の願いは叶った。波に足を洗われながら萌は改まった調子で言う。《パパ、ママ、萌ね……》《癌の子でごめんね》両親は顔をゆがめた。《萌は、萌だから》館内のあちらこちらですすり泣く声がある。海に出かけた三日後の朝、萌は亡くなった。

田中泯演じる咲和子の父は幾つかの疾患の痛みに苦しめられて《リクエストを口にくれ》私の父も延命治療をするな、死に顔を人に見せるな、と言いつつ旅立った。

1世紀近く生きると《老醜をさらす前に母さんの処へ》行きたい心境になるのだろう。ましてや激しい痛みを抱えていては。しかし、日本では安楽死は認められていない。悩みに悩んだ末に咲和子は注射針を手にした。その朝の金沢の朝焼けを二人は穏やかに眺めていた。人の寿命が延びたことに、医学が生きた長らえさせる現代、政治の世界で安楽死を認める法の論議があるべきだ。昭和の時代よりも遙かに死にたい、死なせたい患者が増えているから。



化粧は女の演出

千葉市 齋藤 ゆり

近頃は、女性だけではなく男性も化粧をする時代ではあるが、本来化粧というものは女性が自分を美しく見せるために行ってきたものである。「何故女性は化粧をする

のか」これには幾つかの気になる点浮かぶ。何人かの女性に質問をすると大半の女性がこう答えた。「自分に自信を持たせるためよ」「綺麗に見せたいから」。やはり化粧

というのは自分を美しく見せるためなのである。では、そもそも何故美しく見せたいのか。美しく見せるのは誰のためなのか。

仕事においてスツピンでの出勤は失礼だと言われるが、今回は失礼だから化粧をするという理由を除いて女性という生き物が化粧をする根本的な理由を言及していくことにする。

では、先程挙げた「そもそも何故自身を美しく見せたいのか」。これはある意味女性に限らず、本来自分をよりよく見せようという人間の本能ではないだろうか。その一つの方法として女性には「化粧」があるのだ。

生まれながらにして何もせず綺麗な人もいるであろう。だが、それはごくわずかの人間である。しっかりとした眉を描くことにより顔の印象がハッキリする。自分の骨格に合った眉毛のラインがあればスツピンにはまず見えないと言いうくらい眉毛は重要であり、最近自身で描かなくてもよいように眉毛専用のサロンも流行っている。クルンと上がったまつ毛は目を大きく

見せ、まつ毛が濃ければより目をパッチリ見せることが出来る。眉毛と同様にまつ毛パーマやまつ毛エクステのサロンも今の時代では当たり前だ。

化粧は男性向け？ 自分のため？ 同性に対して？

洋服にせよ化粧にせよ、女性がオシャレをする全ての理由が男性を意識してではない。女性に聞くと「女同士の方が負けたくない気持ちがある」「あの子よりも自分の方が可愛いと思いたい」といった競争心があるようだ。しかし、男性がこの世にいないのも女性には化粧をしただろうか。普段はまつ毛サロンに通わない女性が彼氏との旅行前にサロンに通ったりする姿を見ると男性から可愛く見られたいという意識が強いことが分かる。そう考えると女性同士の闘争心にせよ、男性に向けた心理にせよ、根本は自分のためではないだろうか。あの子より私が美しい、男性に今日は綺麗だと褒められたという評価を受け取るのは自身身だからである。

そしてまた、化粧という漢字は、「化ける」とも書く。

化粧品には大変幅広いジャンルがあり、服装、場所に合わせて雰囲気を変えることが出来る。一種の自己表現だ。薄めメイクで柔らかい印象を作ったり、真っ赤なリップで強い印象や色っぽさを演じることも出来る。ひとつの楽しみである。出勤前の化粧は多少なり面倒であっても、デート前やお友達との約束に向けて化粧する女性の姿はキラキラしている。化けると聞くとマイナスのイメージだが、気になっているシミを上手に隠して、自信のある顔のパーツをより目立たせて心を向上させ、少し違った自分を演出出来るのだ。

女性にとって化粧は、自己の表現、女の演出であろう。そして最後に、化粧はひとつの美しく見せる手段ではあるがやりすぎると下品になってしまう、ケバい、濃いという印象を持たせる。上手く使えば美しいがやり過ぎは禁物である。女性の嗜み、色気には所作も含まれる。外見の化粧も上手にこなし、心の化粧も決して忘れてはいけないのだ。

私はゲイです。

岩手県 中村 Q助

アンリー監督が製作した映画「ブロークバックマウンテン」でヒースレジャー演じる主人公のイニスが子供の頃に回想するシーンがあります。

それは同性愛者である男性が性的嗜好を理由にハレンチを受けるシーンです。イニスは自らの性的嗜好に気付き、恋人であるジャックとの関係を続けることを望みつつも父親から聞いたゲイ差別主義者によるハレンチがトラウマになって葛藤します。20世紀初めのアメリカでは良くあることだったのでしょか。

日本でのLGBTに対する人々の視線はここまで酷くはないけど優しくもないのではないかと感じて居ます。

私はゲイです。中学の頃からなんとなく同性に惹かれる気持ちがありました。異性と付き合うのが普通で自然なことだと思っていました。それゆえに同性ではなく異性の恋人を作っていました。ところ

が大学生の頃から自分の気持ちに正直に生きた方がいいと思いついた。性的嗜好を自認し始めました。

私は全くモテる人ではありませんが、いずれ人並みにパートナーに巡り会って結婚したいと思っています。しかし残念ながら日本では同性婚ができる法制度がありません。現行の憲法において



は「両性の合意」という文言の「両性」というのは男女を意味していて同性婚を想定していないと考えられるためです。同性婚の代わりにパートナーシップの制度があります。異性カップルと結婚とは認められる権利がかなり限定的で充分とはいえません。しかも本来は政府がきちんと法制化すべきものを、なかなか重い腰を上げない政府を見兼ねて自治体が自主的に始めた制度です。簡易的な制度といたった感じは拭えませんが、同性婚に反対する人の意見として挙げられるのは少子化に繋がる、伝統的な家族観が崩れるといった意見があります。しかし、子供を持たない異性カップルは存在するし、伝統だからと言ってすべてが現実に対応しにくいとは限りません。

私は自らの性的嗜好を近しい関係の人にはオープンにしています。しかし、「同性愛の人は男性ホルモンが少ない」「ゲイは嫌いだ」「気

持が悪い」といった全く根拠のない偏見に満ちた言葉を投げかけられたことがあります。その度に自分を責める気持ちや自分を変えないといけないのではないかとという焦りの気持ちが生きました。同性婚に反対する人の中にも偏見に似たような気持ちがあるのではないかと推察します。

「性的嗜好は自分では変えられないのですか」とは、ある裁判官がLGBT当事者に対して法廷で投げかけた言葉だそうです。この質問にとっても違和感を感じました。異性愛が当たり前ではない愛の形は異常であるという考えが背後にあると思ったからです。数が多いというだけで正常であるとは限りません。そして同性同士の婚姻が認められないのは差別や偏見が根強く残っているからだと思います。差別や偏見は人々を分断します。そのため生きづらい人々を増やしてしまします。LGBTに限らず特定の人種や障害者など差別や偏見の目に晒される人間は数多くいます。

差別や偏見が生まれる理由は自分は正常で他者は異常である、自分は優れていて他者は劣っているという考えにあるのではないのでしょうか。自分とは違う他者のことを想像し、理解する心があってこそよりよい社会を作れるのです。よりよい社会とはすべての人が生きやすい社会のことです。もちろん自分の中にも差別や偏見の気持ちは存在します。完全に無くすことはできません。しかし社会全体の仕組みとして特定の間が不利益を被ることは間違っています。

今年の通常国会で与野党代表が《本国会中に夫婦別姓に關しての法案を提出》すると合意されたのに、自民党内に保守派が反対して法案すら提案できなかった。最高裁もまたしても別姓を認めないのは違憲ではないと判決しました。別姓すらこの状態ですから、日本で同性婚が実現するには長い時間がかかるかも知れません。時間がかかってもいい、少しでも差別や偏見のない社会に向かっていくことを願っています。同性愛が笑いのものにならない社会に、そして同性愛が普通のこととして受け入れられる社会に。

若い人たちのコーナー

マッチングアプリについて

千葉県 大山 桜

最近婚活アプリ・パーティーなど。昔に比べて結婚、出会いの多様化が広がっているように感じないだろうか。今回はこのマッチングアプリについて、筆者の考えを交えてどんなものか話していきたいと思います。私は昔にも結婚についての記事を書いたが、その頃はマッチングアプリはそこまで普及もしていなかったので今回はマッチングアプリについて深掘りしていこうと思います。

マッチングアプリとは

まず、このマッチングアプリについて、昔の出会い系と言われるものとは違い、最近では企業が本人確認をしたりするなどのセキュリティ面でも強化されていわゆる普通の人も気軽に安心して使えるようになっています。働いてみるとわかるが、自分で出会いを探さなければ、よっぽど職場が大きくて男女が一緒に

働かないと出会いの場などありません。また、何年も付き合っていた恋人と別れてしまつて今更どうやって出会え



ばいいのかわからない…合コンなどに行くのは面倒くさい…でも恋人を見つけないとい

う男女に、自分の好みであるう異性がある程度フィルタリングしてくれて、選べるアプリは時間も無駄にせず、とても現代にあった「出会い方」なのでしょう。アプリによっては飲食店の予約までしてくれるものもあります。ちなみにマッチングアプリで恋人が来たのは25%。マッチングアプリを利用して

いる4人に1人が恋人を作ることが出ています。ちなみに結婚したのは4%なので100人に4人の割合で結婚していることになりですね。また今は副業としても結婚相談所でも働いたりする時代。これは、結婚相談所に登録した男女に結婚アドバイザーが付き、合

介して恋人になれば報酬がもらえるというビジネスです。なんだか本物の恋愛がゲームみたいになってますよね。恋人を作つて、結婚を

若い人たちのコーナー

する。という自然の摂理だったと思つていたものがビジネスにもなるようになっていきます。お金を払って登録して、異性と出会って交際する。ということが普通になってきています。でも、昔の「お見合い」をいろんな人がやっているという風に思えば年配の方にも馴染みはあるのでしょうか。

日本と世界

ちなみに日本の婚姻率というのは年々減ってきています。1970年のベイビーブームから比べると婚姻率は2分の1まで落ちていきます。中国では2019年の出生数は前年比で4%近くも減少し、ここ3年連続で出生数は低下しています。米国でも2018年の出生率は史上最低値を記録し、少子化が進んでいます。マッチングアプリはグローバルレベルで大きな市場となっており、2025年には日本国内において1060億円規模に成長するといわれています。

2019年のモバイル市場では、米国における非ゲーム系アプリ上位250の消費支

出の9割以上がサブスクリプションによる課金であり、その多くをマッチングアプリと動画ストーリーミングアプリが占めていました。また、2019年には非ゲーム系アプリのサブスクリプションにおける世界消費支出ランキングで、前年1位の「Netflix」を抜いて、マッチングアプリの「Tinder」が首位を獲得していました。

このように、世界でもマッチングアプリでの出会いというものは普通になってきています。女性の社会進出等も相まって昔ほど、結婚ということにステータスや結婚しないといけないという考え方はなくなつてきています。日本を含む世界各国で少子化は問題視されていて、その背景に未婚化が進んでいるという問題が大きくあると思います。人口は国力とも言われたりします。今後の世界の未来にマッチングアプリはなくてはならない存在になるのではないのでしょうか。まだまだ始まったばかりのマッチングアプリ市場には未来の無限の可能性を秘めているのだと筆者は思っています。

化粧

斎藤 喜代子

電車の中、化粧を始めている女性の前の席に座ってしまった。…二重をくつきりとする器具、あれなんて言ったかなー？ 次はアイラインを引くみたいだ。目が合った。慌てて目をそらし、本を取り出す。でも気になる。頭の第三の目はその方向を見ている。目を上げると睨まれるかな？…ちよっと見ると、目じりの下にピンクの色を入れていた。

正しい化粧の仕方を習わぬままに社会に出、大人になり、そして老齢に至っている。昔から、あまり化粧はしなかったが、眉毛の薄い事は気にしていた。いつだったか長男に「姐さんみたいだ」と言われたことがある。江戸時代には眉毛がない事はとても便利なのだけども。で、眉を引いてアイラインを少々、アイシャドウを薄く、それから唇に紅を引き、ハイ出来上

がり。今は、眉を書き、マスクをして出来上がり！

くだんの女性、わたくし、東大島で乗車、岩本町で急行の追い越し待ち、そして小川町の下車だったが、念入りな化粧の完成を見ることはできなかった。「嘘」と、この「化粧」は相通じるものがある。女形の梅沢富雄、化粧品宣伝のイッコー然り、大ウソつきの顔形である。平素はむくつけきオノコであるのに、信じられないくらい綺麗になっっている。

女性政治家を見ていてっかりすることがある。念入りに化粧をし、ツケマツゲをした目をパチパチとして見せる。これは美人を強調しているのか？ジェンダーレスを唱える政治家とは思えない。ドイツやアメリカ、台湾、他国の女性政治家とは一線を画している。私的には好みではない。大切な一票、入れません！

時と場合により、化粧で美しく変身する事を否定はしないが、人間以外の生き物は雄が美しい身体を持ち、美しい声で囁り、雌を誘うのになー。

余録

本誌前号へいただいた感想やご指摘。一部ご紹介すると「表紙の吊り橋、怖そうで美しい光景です」「表紙写真がヨコからタテへ。随分印象が変わるものと感心しました。もちろん被写体の良さと腕前の素晴らしさがあるのでしょうが」「幅広いジャンルからの色々な意見が面白いと思えました。」「その都度、新しい書き手が寄稿し、楽しく読ませていただきました。編集方針の一貫性も魅力の1つ

編集後記

今号も多方面から新たな書き手が《言いたいこと、書きたいこと》を寄せてくれた。中村Q助君に「何か書かないかい？」「えっ書かせてくれるんですか？」受け取った原稿は《私はゲイです》。今度は若い女性に「何か書いてみない」との答えは《化粧は女の演出》(P12)だ。やはり女性にとって最大の関心事は綺麗になることですか。ココ

です」「親孝行始末記、ほのぼのとした中に意味深い点もありよかったですね」「前々号でのトランプ評価、痛快でした。しかしトランプ絶賛のアメリカ人は50%近くおり、それは何故かと知ることも興味ある所です。世の中がCO₂削減に向かって突き進んでいる中で、異論を唱える人がなぜ異論を唱えつづけるのか、科学の世界で、なぜ平行線をたどるのか、不思議な所です」「既存のメディアと一味違う考えがわかり大いに勉強になります」「パンデミック、収束が見えてきません。人間の傲

ナ禍の五輪に反対運動を重ねてきた渡辺好造氏は《無観客の五輪》をどんな思いでみられたのか。日本の革新運動を担ってきた社会党・社民党は立憲民主党に合流派と残留派に分かれた。残留派の全国連合の服部良一幹事長と合流派の高木正晴氏、共に社会民主主義への思いを綴ってくれた。そして、社会党が強くなっていたら、政権党はこんなに勝手に、国民に犠牲を強いていさせないかと嘆く。当誌としては、多方面のスタンス

慢が招き寄せた、賢くて強固なコロナウイルス、ワクチンを接種すれば終わり、ということにはならないでしょう。さてお知らせが遅くなりましたが、仏画家で画流会代表の中田恭子さんの作品「木喰」と「平安」が7月24日から28日まで日光東照宮に飾られました。中田さんは祈り続ける平和の使者を表す「画聖」の称号を日光東照宮より贈られ、日光東照宮権宮司と1時間、1対1で平和会談を行い、テレビや新聞などで報道されました。事後ですが、ご報告申し上げます。

からの投稿を歓迎しています。西尾直毅氏は自らの体験した仕事からガソリン、石油エネルギー問題の警告を説く。人類の危機に世の中は前に進んでいるのかバックしているのか？宮内氏は国家権力に疑問を呈し、三田氏は世界一の国民数を率いる習近平氏に反省を求め。信州のロザリアン氏は常に戦争と平和の視点から呼びかける。新しい書き手、配り手、ネットでの読み手、置いてくれる店を紹介して下さい。

当誌の社友たる増山麗奈監督の口合作映画《歳三の刀》は、辰巳琢郎や加藤登紀子出演で製作が進んでいる。コロナ禍でようやく撮影が始まったので、本人から報告の投稿をいただいた。

映画監督にして画家 増山麗奈の駆け巡り!

第16話 会津にてクランクイン 《歳三の刀》



歴史上もつともイケメンな土方歳三。歳三さんが訪れた栃木、会津へ撮影映画「歳三の刀」撮影を行っています。なんだか時空を超えたストーリーになった気分…。

京都時代の新選組というと、華々しいイメージがありますが、その後の新選組の様子って、伝えられていないと思いませんか。ドラマでも、新選組、というと京都時代ですよね。

京都時代は「芸者にモテモテ」なんてことで育ての親

でもある生誕地、東京日野市の義兄に日々手紙を誇らしげに送り続けた土方歳三ですが、北へ北へと追われながら盟友近藤勇を斬首という残酷な形で失って、山梨甲府に攻めていったからは、義兄佐藤彦五郎にも手紙を送っていました。当時の新選組は新政府側にとってテロリストという扱いでしたから、新選組に関わっていることが、当時新政府側になれば財産も家族の命も奪われる、といったも過言ではありませんでした。

土方歳三は宇都宮城を放火し、天守閣を全焼させ、自分も大きな怪我を足におい、そのまま日光を越え、会津へと渡ります。

そこで、歳三さんは会津の東山温泉につかりながら養生をするんですね。会津といえば新選組に京都警護を命じた会津若松の松平容保公のおひざ元。会津滞在中に土方歳三は会津の街を一望できる丘の上に近藤勇の墓を作りしました。会津は土方歳三にとって、盟友近藤勇を弔い、心を整理する本場に大切な時間だったのだらうと存じます。

新政府側が旧幕府側を攻撃

した戊辰戦争の中で最も痛めつけられたのが会津です。2か月にもわたって戦闘で、会津藩の戦死者は2977人。城下の3分の2が焼失。会津藩の勢力は正規兵が3500人、農兵などを合わせると約9600人、一方新政府軍は約75000人でした。圧倒的な戦力の差の中で、女性も娘子軍（じょうしぐん）とし



宇都宮城から先の新選組の思いに映画撮影をしながら心を馳せる（監督の筆者は後列右端）

そんな会津で撮影したのは近藤勇が天然理心流の襲名披露をする夜の宴会のシーンです。地元会津の土方歳三さんが傷を癒した温泉の芸妓の皆さんも出演してくれました。しかも三味線の生演奏つき。2020年12月から毎週日曜日に土方歳三の生誕地日野で藤本流の藤本秀照多先生のもとで、芸者役の女優たちが

て戦い抜きます。「今も多く残っている」と地元の方はおっしゃいます。

い会津料理、地元末廣酒造さんのお酒に自然と役者さんたちの顔がほころび、生きる喜びにあふれます。土方さん

稽古を続けていた三味線を披露しました。演奏したのは、150年前の幕末に多摩地域で歌われていた唄「鮎かき歌」です。鮎のお寿司を甲州街道を通って江戸に献上するときに、あまりおいしいからちよつと一口食べちゃうというかわいらしい歌。料亭「田事」の飛び切りおいしい

は人生の最もつらい時期を、会津の人の情けと美味しい食事と美しい芸妓たちとの時間で癒されたのかなあと、実感します。映画撮影の様子はNHKをはじめ福島中央テレビ、福島民友、福島民報など多くのメディアで紹介されました。東山芸妓の皆さんは本来であればオリンピックの関連事業としてのステージがあったそうですが、この撮影の数日後、福島県すべてのオリンピック関連イベントの中止が宣言されました。ギリギリでしたが、疲弊する会津に、小さいけれど仕事を作ることができて、よかったです。

この時の撮影のご縁が始まりで、土方歳三生誕地の日野のJAで会津の特産品の販売が決まったとのこと。京都、日野、山梨、板橋、栃木、会津。函館、新選組にかかわるそれぞれの地域の特産品を応援するような映画に育てていきたいな。コロナでみんなしんどいけど、心をつないで、関係してくれたみんなが潤う。農民出身のサムライ、近藤勇や土方歳三が願ったのはそんな世界なんじゃないかしら。